

議会報告会実施報告書

開催日時	平成 30 年 10 月 23 日 19 時 00 分 ～ 20 時 40 分		
開催場所	肥田公民館		
出席議員	加藤辰亥、加藤淳一、西尾隆久、小栗恒雄、山内房壽、高井由美子、渡邊隆、杉浦司美、楓博元、後藤久男、山田正和、鈴木正義、北谷峰二、和田悦子、各務和彦、水野哲男、水石玲子、小関篤司		
	代表者 楓博元	司会者 鈴木正義	
	報告者 和田悦子	記録者 鈴木正義、高井由美子、和田悦子	
参加人数	2 2 人		
報告内容	1. 土岐市立総合病院について 報告者：楓博元 2. 土岐口開発について 報告者：和田悦子 3. 議員定数について 報告者：山田正和		
主な意見・ 提言等	【1. 土岐市立総合病院について】 ・ 歯医者待ち時間が長く、いい先生がほしい。 ・ なぜ、ベッド数が減ると医者が来やすくなるのか。 ・ 3 0 年もたち、腰掛の破損、水道の締りが悪い。 ・ 一病院化はどっちがなくなるのか。総合病院を残せないか。 ・ 行政は一院化だが、議会はどうか。 ・ 常滑は赤字解消のため、市職員の給料（1 5 %カット）を減らし、努力している。 ・ 企業だったら。赤字解消に向けて改善していくが、病院は赤字のままか。 ・ なぜ9人の医師がやめたのか。 ・ H 2 9 年 1 0 月まで自治会になぜ知らせなかったのか。 ・ 医師不足で外来が受けられないのは困る。 ・ 主力が東濃厚生になるのか。 ・ 情報をもっと早く、オープンにしてほしい。 ・ 赤字が続いているのに、市議会としては市民や病院に意見を聞いたか。 ・ 病院改革特別委員会を傍聴したが、その内容を市民に知らせないのか。 ・ 一院化して職員は公務員でなくなるが、患者の対応ができるのか。 ・ 一院化は決定なのか。 ・ 医局は救急病院へ医師を派遣し、回復期病院へは医師が来てもらえないのでは。		

	・総合病院は春日井とか厚生病院を紹介するだけ。家族は送迎で大変。病院を残してほしい。 ・パブコメをもっと早くすべき。 ・病院の現状を議員が聞きに来ない。議員も知らないのではないか。 ・赤字をどこまで市民が納得するかにかかっている。 ・新聞を見ると、もう市民病院は終わったという印象がする。 【２．土岐口開発について】 ・イオンは本当に来るのか。 ・土岐口財産区にすべて任せればよい。 ・道路は土日混雑しているのに、このままで良いのか。 【３．議員定数について】 ・若手がない。育てる必要がある。 ・議員数を減らして報酬を上げて、３６５日活動できるようにする。 ・現状で適正だと思う。
--	---